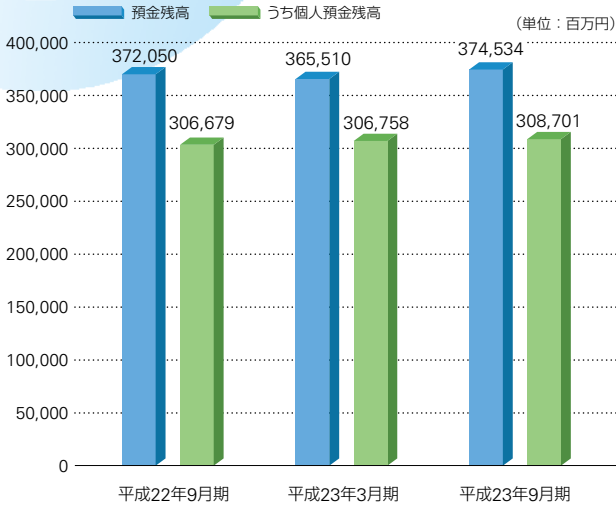


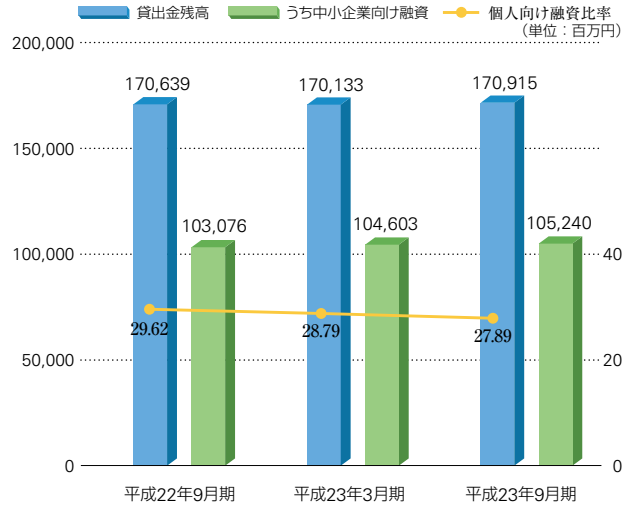
業績の状況

預金



預金残高は、前年度末に比べ90億円増加しました。
個人預金は前年度末に比べ19億円増加しております。

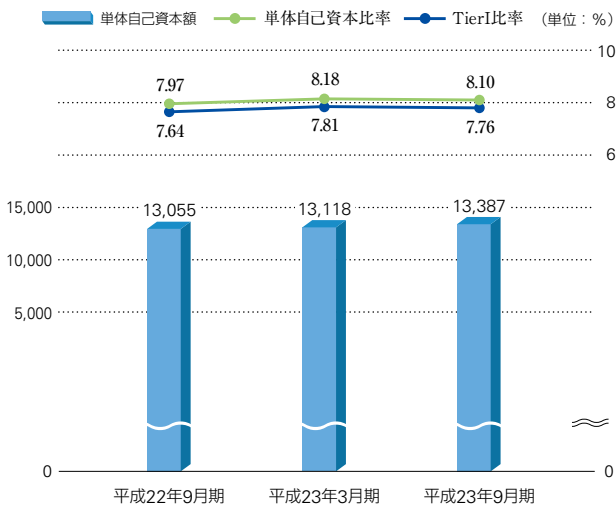
貸出金



貸出金残高は、景況感を反映した事業先の資金需要の低迷などが依然続いておりますが、前年度末に比べ7億円増加しました。

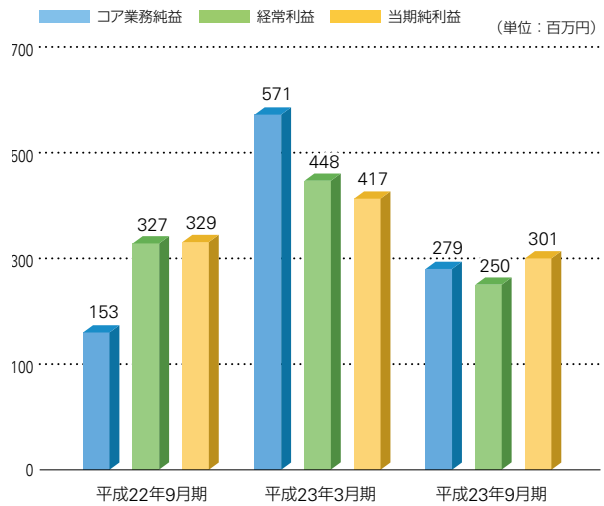
特定の業種や一部の取引先に偏ることなく、幅広くご融資しております。

自己資本比率(単体)



自己資本比率は、利益の確保による自己資本額の増加により、前年同期に比べ0.13ポイント上昇し、8.10%となり国内基準の4%以上を引き続き上回る水準にあります。

コア業務純益・経常利益・中間純利益



コア業務純益とは、業務純益は金融機関本来の業務から得た利益ですが、債券による損益や一般貸倒引当金繰入額が毎期大幅に変動するため、コア業務純益は業務純益から債券関係損益と一般貸倒引当金繰入額を控除して算出した中核的な業務純益を表します。

$$\text{自己資本比率} = \frac{\text{自己資本額 (Tier I + Tier II)}}{\text{リスク・アセットの額}} \times 100$$

リスクアセットの額：資産の各項目にリスク・ウェイトを乗じて得た額のこと

Tier I (基本的項目)：資本金、法定準備金、剰余金などの合計で本来の自己資本のこと

Tier II (補完的項目)：一般貸倒引当金、土地の含み益や劣後ローンなどで自己資本を補完する項目のこと

$$\text{業務純益} = \text{業務粗利益} - \text{経費} - \text{一般貸倒引当金繰入額}$$

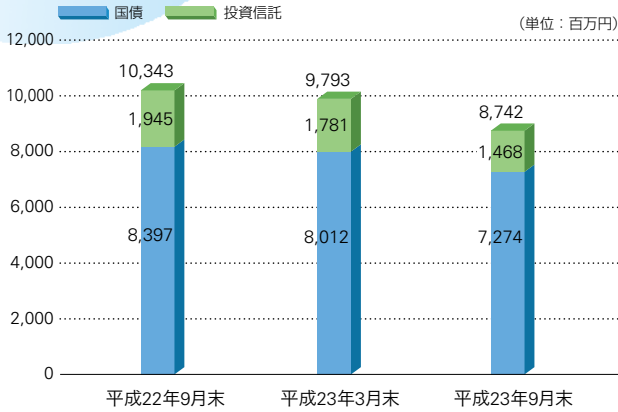
$$\text{コア業務純益} = \text{業務純益} + \text{一般貸倒引当金繰入額} - \text{国債等債券損益}$$

業績ダイジェスト

業績の状況

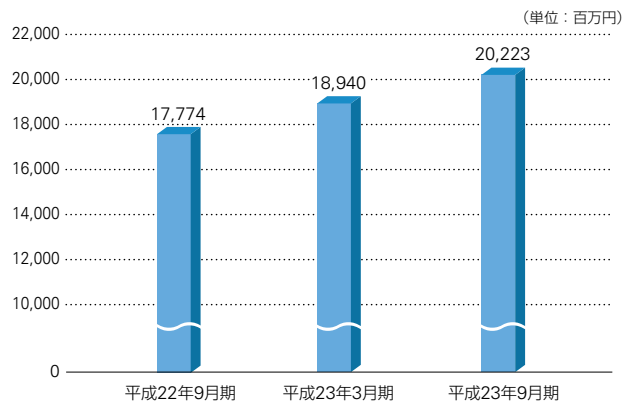
預り資産の状況

● 国債、投資信託の預り資産残高



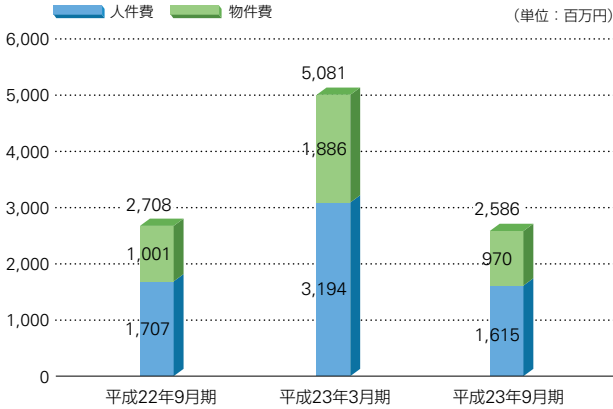
経済情勢・金利動向を踏まえたうえで、お客様の資産運用のお手伝いをしておりますが、個人向け国債の償還が始まったことや市況の冷え込みによりお預りしている資産残高は前年度末に比べ減少しております。

● 個人年金保険の販売累計額



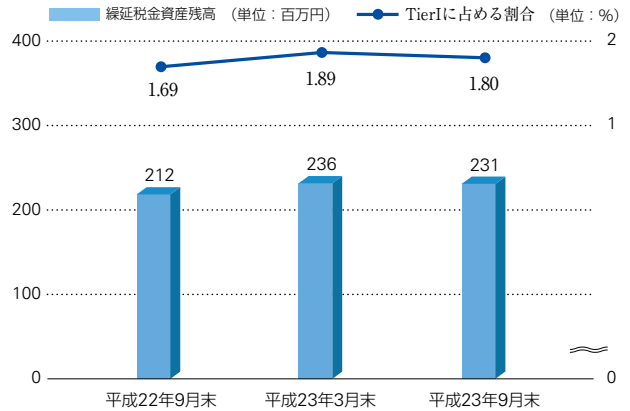
個人年金保険の販売高は、前年度末に比べ12億円増加し、202億円となりました。お客様のライフプランに合わせた商品がご好評をいただいております。

経費の状況(税金を除く)



経費全体では、前年同期に比べ122百万円減少しました。主な要因は、継続的な見直しによる物件費の削減と人件費の減少によるものです。

繰延税金資産



Tier Iに占める繰延税金資産の割合は引き続き低率を維持しており、財務の健全性と透明性の確保に努めています。

繰延税金資産：いったん納めた税金のうち、将来戻ってくると見込まれる分を繰延税金資産として計上し、同額が資本に算入されます。この算入分が税効果資本です。

有価証券の時価情報

(単位：百万円)

		残高	平成23年9月末			
			評価差額	平成23年3月比	うち評価益	うち評価損
保有目的別	満期保有目的	39,511	▲ 109	334	929	1,039
	子会社・関連会社株式	60	—	—	—	—
	その他有価証券	85,084	▲ 1,497	▲ 409	643	2,140
合計		124,655	▲ 1,606	▲ 74	1,573	3,180
種類別	株式	1,266	▲ 325	▲ 100	1	326
	債券	93,755	1,429	674	1,504	75
	その他	29,634	▲ 2,710	▲ 648	67	2,778

(参考) 日経平均株価：平成23年3月末9,755円、平成23年9月末8,700円

貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	平成22年9月期	平成23年9月期
(資産の部)		
現金	3,387	3,454
預け金	91,826	83,072
有価証券	114,782	124,655
貸出金	170,639	170,915
その他資産	3,007	2,717
有形固定資産	5,216	5,218
無形固定資産	50	72
繰延税金資産	212	231
債務保証見返	494	390
貸倒引当金	▲ 2,603	▲ 2,231
(うち個別貸倒引当金)	(▲ 2,193)	(▲ 1,807)
資産の部合計	387,012	388,498

科 目	平成22年9月期	平成23年9月期
(負債の部)		
預金積金	372,050	374,534
その他負債	1,178	928
賞与引当金	143	122
役員賞与引当金	-	-
退職給付引当金	669	727
役員退職慰労引当金	146	135
その他の引当金	34	30
再評価に係る繰延税金負債	375	374
債務保証	494	390
負債の部合計	375,091	377,244
(純資産の部)		
出資金	2,398	2,397
利益剰余金	10,114	10,434
組合員勘定合計	12,512	12,832
その他有価証券評価差額金	▲ 511	▲ 1,497
土地再評価差額金	▲ 79	▲ 81
評価・換算差額等合計	▲ 591	▲ 1,578
純資産の部合計	11,921	11,253
負債及び純資産の部合計	387,012	388,498

損益計算書

(単位：百万円)

科 目	平成22年9月期	平成23年9月期
経常費用	3,435	3,254
資産調達費用	331	190
預金積金利息	331	190
その他の支払利息	-	-
役員取引等費用	204	200
その他業務費用	16	3
国債等債券売却損	-	0
国債等債券償却	-	-
その他の業務費用	16	3
経費	2,753	2,629
その他経常費用	129	231
貸倒引当金繰入額	87	153
貸出金償却	2	0
株式等売却損	15	44
株式等償却	2	-
その他の経常費用	21	32
特別損失	12	4
減損損失	-	-
その他の特別損失	12	4
法人税、住民税及び事業税	5	5
法人税等調整額	10	5
中間純利益(3月期は当期純利益)	329	301
支出合計	3,793	3,572

科 目	平成22年9月期	平成23年9月期
経常収益	3,763	3,505
資金運用収益	3,209	3,041
貸出金利息	2,016	1,953
預け金利息	283	207
有価証券利息配当金	860	830
その他の受入利息	49	49
役員取引等収益	213	202
その他業務収益	327	247
国債等債券売却益	317	203
その他の業務収益	9	43
その他経常収益	13	14
株式等売却益	13	14
その他の経常収益	-	-
特別利益	30	66
貸倒引当金戻入益	-	-
その他の特別利益	30	66
収入合計	3,793	3,572

銀行勘定における金利リスク

(単位：百万円)

区 分	運用勘定	
	平成22年9月期	平成23年9月期
貸出金	2,847	1,374
有価証券	3,479	2,001
預け金	530	800
その他	-	-
運用勘定合計	6,857	4,176
銀行勘定の金利リスク	3,782	1,976

区 分	調達勘定	
	平成22年9月期	平成23年9月期
定期性預金	1,655	1,552
要求払預金	1,418	647
その他	-	-
調達勘定合計	3,074	2,199

- 銀行勘定における金利リスクは、金融機関の保有する資産・負債のうち、市場金利に影響を受けるもの(例えば、貸出金、有価証券、預金等)が金利ショックにより発生するリスク量を見るものです。当組合では、金利ショックをパーセントイル値(保有期間1年、最低5年の観測期間で計測される金利変動の99パーセントイル値)として、銀行勘定の金利リスクを月次(前月末基準)で算出しております。
- 明確な金利改定間隔がなく、預金者の要求によって随時払い出される要求払預金のうち、引き出されることなく長期間金融機関に滞留する預金をコア預金と定義し、当組合では、要求払預金の額の50%相当額を0～5年の期間に振り分けて(平均2.5年)リスク量を算定しております。
- 金利リスクの算定にあたり、預金、貸出金の期限前解約、返済は考慮しておりません。
- 銀行勘定の金利リスクは、運用勘定の金利リスク量と調達勘定の金利リスク量を相殺して算定します。